



東京文化発信プロジェクト

東京から生まれる新しい文化の波

プレスリリース

平成 22 年 6 月 4 日

東京文化発信プロジェクト 平成 22 年度事業 新規事業が加わり充実したラインナップへ

… 世界的なアーティストとの協働、参加型事業の拡充、地域をアートでネットワーク …

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信、芸術文化を通じた子供たちの育成を目的とする「東京文化発信プロジェクト」を、芸術文化団体、アートNPO等と協力して平成20年度から展開しています。初年度は「フェスティバル事業」と「キッズ事業」、平成21年度からは多様な地域の文化拠点の形成を目的として「東京アートポイント計画」を加え、3つの柱で展開しています。

これまで「東京文化発信プロジェクト」を実施してきたなか、文化に触れることで、人が変わり、街が変わるさまを目のあたりにして、閉塞感の漂う日本にクリエイティブな活力を取り戻すためには、芸術文化の創造力が欠かせないということを再認識しました。「東京文化発信プロジェクト」では、東京に集積する人材や文化資源を最大限に活用し、今年度の新たな事業と取り組みを通して、東京がアジアをはじめ世界の人々の交流拠点として、東京の文化を世界へ発信、東京の価値を高め、活力のある都市となることを目指します。

3年目となる今年度も、新規事業に取り組みます。合唱活動が盛んな東京に、世界的な合唱指揮者ロベルト・ガッピアーニ氏を迎え、新たな合唱団を公募で結成します。また、国内外で活躍する現代アーティスト川俣正氏が隅田川エリアで展開するプロジェクトや、子供たちが芸術文化に触れ、体験する機会を提供するキッズ事業でも、海外の劇団との交流プログラムがはじまります。

さらに、公募・参加型のプロジェクトや人材育成プログラムの充実など、文化の担い手を広げる事業を強化していくほか、東京の地域を見つめなおし、そこで活動する人々がアートをフックに連携・ネットワークを強化する事業など、多彩な視点から東京の文化を元気にする「東京文化発信プロジェクト」を展開します。

『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー』



トリノ王立歌劇場 合唱指揮者 ロベルト・ガッピアーニ氏

『東京インプログレス』



©Tadashi KAWAMATA

■ 世界的なアーティストとの協働

『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー』
『東京インプログレス—隅田川からの眺め』

世界的なアーティストを迎えた2事業を新たにはじめます。

『ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー』は、トリノ王立歌劇場(イタリア)を拠点に活躍する合唱指揮者ロベルト・ガッピアーニ氏の指導を受ける合唱団員を公募、オーディションを経て“スーパー・コーラス・トーキョー”を結成します。10月には、東京都交響楽団との共演により、音楽の根源である“声”をテーマとするコンサートを開催します。

また、世界で活躍する川俣正氏が、『東京インプログレス—隅田川からの眺め』を始動。「東京スカイツリー」の建設と連動し、隅田川流域に構築する木造の塔を拠点として、変わりゆく東京を新たな側面から考えていきます。

■ 人材育成や参加型プログラムを充実

『Tokyo Art Research Lab』 『TACT/FESTIVAL』

アートや文化の担い手を育てる人材育成プログラムを強化します。『Tokyo Art Research Lab(トーキョー アートリサーチ ラボ)』では、プログラムコーディネーター、リサーチ・アシスタント、インターン、ラボ生の四者が一体となって現在進行形のアートプロジェクトを検証(分析・言説化)する10講座を開設します。

参加型プログラムとしては、『TACT/FESTIVAL(タクトフェスティバル)』が新たに加わり、海外の劇団を招聘、親子で観賞できる舞台公演、ワークショップを開催します。

『Tokyo Art Research Lab』



■ 地域・エリアに密着、アートでネットワーク

『TERATOTERA』 『墨東まち見世 2010』

JR 中央線高円寺～吉祥寺駅区間が活動拠点の『TERATOTERA(テラトテラ)』では、新たに地域の芸術文化施設等との連携を促進、定期的にイベントを実施していきます。

『墨東まち見世 2010』は、墨東エリアにて、参加住民とともに古い空き家にギリシャ悲劇の一家の物語をインストールするプロジェクト『墨田区在住アトレウス家』をおこなうほか、この地域で活動している方々との連携をつくりだしていくネットワークプロジェクトを実施します。

『墨東まち見世』



■ 継続が生む東京の“新定番”

『フェスティバル/トーキョー』 『六本木アートナイト』
『恵比寿映像祭』 『東京発・伝統WA感動』

平成20年度から実施している各事業も拡充します。

舞台芸術の国際フェスティバル『フェスティバル/トーキョー』では、新作・世界初演を含む約20演目をラインナップ、国内外の劇団等との共同製作作品を充実させていきます。さらに、若手アーティストの自主公演をサポートする公募プログラムを開始。アジアを代表する舞台芸術祭を目指し裾野の拡大も図ります。

『フェスティバル/トーキョー』



『Riesenbutzbach』(巨大なるブツバツハ村 仮訳)
©Dorothea Wimmer

六本木の街を舞台に、街とアートが一体化した非日常的な体験をする一夜『六本木アートナイト』は、年々参加者が増加、オールナイトのアートイベントとして定着してきました。

また、映像分野のジャンルを横断して質の高い作品を紹介する『恵比寿映像祭』は、会場である東京都写真美術館のみならず、まちなかも舞台として展開されるようになりました。

伝統分野では、昨年度から伝統芸能の発信力を高めることを目的として、一流の実演家による公演などを開催する『東京発・伝統 WA 感動』を展開しています。今年度からは平成20年度より実施している本格的な伝統芸能を一流の芸術家から学べる『キッズ伝統芸能体験』と、誰でも気軽に楽しめる『東京大茶会』の2事業を加え、これら伝統分野の3事業が、新たな『東京発・伝統 WA 感動』事業として連携していきます。能楽師 野村萬氏を実行委員長に迎え、伝統芸能・伝統文化の魅力を国内外に広くアピールしていきます。

これらの事業も、継続してきたからこそ、東京ならではの“新定番”として根付きつつあると考えています。

『第2回 恵比寿映像祭』



藤本隆行／真鍋大度／石橋素《Time Lapse Plant／偽加速器 2010(4 Rings)》2010年

東京文化発信プロジェクトとは

東京文化発信プロジェクトは、世界の主要都市と競い合える芸術文化の創造発信、芸術文化を通じた子供たちの育成、多様な地域の文化拠点の形成を目的として、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体、アートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。

演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベント、まちなかで市民とアーティストが協働するアートプログラム、子供向けの体験型プログラムなどの事業を展開しています。

< 報道関係者からの問い合わせ先 >

東京文化発信プロジェクト広報事務局 富樫／大原

電話：03-3818-2465 FAX: 03-5689-0455 E-mail: tokyobunka@prinfo.co.jp